掃除のコツと裏ワザ

効率的な掃除の方法

家の中には、いつもきれいにしておきたいと思いながらもなかなか手がつけられず、結局年に一度の大掃除となってしまう、という場所があります。なかなか掃除をしないから汚れもひどくなり、少しくらい掃除をしただけではきれいにならない、掃除が嫌になってさらに汚れがたまる、という悪循環が発生しています。台所のガスコンロや換気扇、窓ガラスや網戸などがその代表例です。これらの場所は、掃除が苦手な人だけでなく掃除が得意な人にとっても、汚れがたまると掃除するのが億劫になる場所であり、掃除の悪循環が発生しやすい場所といえます。

掃除の裏ワザ

洗剤の成分や道具などの商品知識を豊かにしたり、手順や要領を身に付けたりすると、家庭にあるものを上手に活用することができます。汚れがたまる前に試してみましょう。

やかんの湯垢

少量の酢を入れた濃い塩水に一晩つけて置き、スチールウールでこすり落とします。

コップ・急須などの茶渋

みかんの皮に塩をまぶして茶渋をこすりとり、布に水を含ませた重曹をつけて磨きます。

まな板

レモンの切れ端でこすり、漂白します。

フキンの黒ずみ

カップ1杯の水にレモン半分とフキンを入れて煮ます。

鏡

クエン酸を水で溶かしたものをスプレーします。しばらく放置してから水拭きします。

蛇口

古いストッキングやナイロンタオルで磨きます。

金属磨き

布に練り歯磨きをつけて磨きます。狭いところは先をつぶした爪楊枝を使います。

銀製品は重曹を使います。

掃除のコツ

掃除の達人は、「簡単な掃除の知識さえあれば、汚れを落とすことができ、やる気も起きてどんどんきれいになっていく」と言っています。

身近なものを使って汚れが落ちる掃除のコツと裏ワザを、DIYに詳しい中村博之さんに伺いました。もし、あなたが掃除が苦手でも大丈夫。ここで紹介してる掃除のコツを読んで、掃除の悪循環から抜け出しましょう。

ガスコンロ

調理の際の煮物の吹きこぼれ、炒めものの油はねなどはその場で拭き取っておくとよいでしょう。それでもたまっていく焦げつき汚れは、重曹を使った煮洗いが効果的です。焦げつきが柔らかくなり、落としやすくなります。

【手順】

大きな鍋に水を入れ重曹を加えます。

その中に五徳や受け皿、グリルなどをつけて10分ほど煮てから水洗いします。

台所の換気扇

換気扇の油汚れには、つけ置き洗いがおすすめです。洗剤は市販の専用品ではなく、身近にあるもので十分です。

【手順】

酵素系漂白剤（弱アルカリ性）ｶｯﾌﾟ2～3杯に、食器洗い洗剤（中性）を小さじ3杯入れて混ぜ、つけ置き洗い用洗剤を作ります。アルカリ性の油汚れ用洗剤でつけ置き洗いをすると塗装まではがれることもあるので注意が必要。

換気扇の部品をはずし、ひどい汚れは割り箸で削り落とします。

シンクや大きな入れ物の中に汚れ防止用のビニール袋を敷き、40度ほどのお湯を入れてから①を加えて溶かします。その中に部品を1時間ほどつけて置きます。

歯ブラシで汚れを落としたあとに水洗いしてできあがりです。

窓ガラス

窓ガラスの汚れは、一般的には住居用洗剤を吹きつけて拭き取ります。水滴をそのままにしておくと、跡になってしまうのでから拭きするのがコツです。から拭きには丸めた新聞紙を使うとよいでしょう。インクがワックス代わりをしてくれます。

【手順】

1％に薄めた住居用洗剤を霧吹きで窓ガラスに吹きつけ、スポンジでのばします。

窓ガラスの左上から右へとスクイージーを浮かせないように引き、枠の手前で止めて、スクイージーのゴム部分の水を拭き取ります。

同じように下段へと進み、下まで引いたら、右側の残した部分を上から下へと引きおろします。

仕上げに丸めた新聞紙でから拭きします。

網戸

網戸は外して水洗いするのが理想的ですが、無理な場合は、塗装用のコテバケを使うとよいでしょう。

【手順】

住居用洗剤を溶かしたぬるま湯にコテバケをつけて絞り、網の上下または左右に塗ります。

しばらく放置したあと固く絞った雑巾で拭き取ります。

ブラインド

ブラインド専用の掃除用具も販売されていますが、軍手を使うと簡単に汚れを取ることができます。

【手順】

ゴム手袋をした上に軍手をはめます。

指先に水で薄めた住居用洗剤をつけて絞り、ブラインドを指で挟むように拭きます。

軍手を水洗いして水拭きをします。

仕上げに乾いた軍手でから拭きします。